

骨粗鬆症がある骨盤骨折の形態と骨強度に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年9月30日 ～ 2027年3月31日

〔研究課題〕

脆弱性骨盤骨折の骨強度と骨折形態に関する研究

〔研究目的〕

最近、骨粗鬆症がある方の骨盤骨折が増加傾向ですが、なぜ転倒や転落などの軽いケガや全くケガの既往がない状態で骨盤が骨折してしまうのか、よくわかりません。腰や骨盤部の痛みやその他の理由で骨盤部を含めたCT画像検査が行われると、時に骨盤の骨折が見つかることがあります。骨盤部のCT画像を用いた詳細な骨密度や骨強度と骨折型の関係、硬いしっかりとした骨が残っている場所などに関する検討はこれまでほとんど行われていません。これらのことをふまえて、当院で撮影された骨盤骨折のCT画像を詳細に検討することにより、骨折の予防と最適な治療を行うための骨密度・骨強度を調査します。

〔研究意義〕

本研究の目的は、軽いけがや無症状にも関わらず骨盤が骨折した場合のCT画像を詳しく調査することにより、骨盤の骨折が起こりやすい状態を予見し、より効果的な治療を考案しようとするものです。

〔対象・研究方法〕

当院に来院し、CT画像検査で骨盤の骨折が見つかった65歳以上の患者さんを対象に、通常の診療で撮影したCT画像を特殊なソフトウェアを使用して、骨密度や骨強度を調査させていただきます。対象となるCT撮影時期は2015年4月～2025年3月です。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部整形外科学講座・同附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の保護に留意し、加工・保管・破棄の方法に配慮します。患者情報は研究終了後、帝京大学臨床研究センターで10年間保管後に破棄します。

〔その他〕

研究参加による経済的な利益は発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：鈴木卓(教授)

研究分担者：乾貴博(助手)、石井桂輔(講師)、渡部欣忍(教授)

所属：帝京大学医学部整形外科学講座

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 33703]